

重粒子線（炭素線）治療施設

九州先端医療がんセンター（仮称）

事業計画案

平成21年3月23日 事業推進委員会

1 理 念

今やがんは日本人の死亡原因の第1位で、三人に一人はがんが原因で亡く
なられている。また、生涯のうちで、男性の二人に一人、女性の三人に一人は
がんにかかる時代となっており、がん撲滅は、私たちの生活に密着した大きな
課題となっている。

特に、佐賀県では、肝臓がんが長年全国1位にあるなど、がんの死亡率は
全国高位にあり、九州各県もすべてがんの死亡率が全国平均より高く、効果
的ながん対策が求められている。

私たちは、ここ九州の地に、しかも新幹線、高速道路がクロスする交通の要衝で
ある佐賀県鳥栖の地に、九州で初めて、また民間では日本で初めて、最先端の
放射線治療である重粒子線(炭素線)がん治療施設を開設する。

1 理 念

重粒子線(炭素線)がん治療は、がん病巣に高い線量を集中することができ、また、がんの殺傷効果も高く、「痛みがなく、患者の負担が軽い」「短期間での治療が可能」「骨軟部腫瘍など他の治療法では難しい難治性がんの治療が可能」という優れた特徴を有する。

この重粒子線(炭素線)がん治療施設を開設することにより、佐賀県はもちろんのこと、九州のがん患者が身近な所で重粒子線(炭素線)がん治療を受けられるようになるのみならず、さらに全国、海外のがん患者にも最先端のがん治療の機会を提供し、九州の地域医療、地域福祉の向上、ひいては九州全体の地域振興に貢献する。

また、民間では日本初めての重粒子線(炭素線)がん治療施設の建設及び運営となることから、新たな事業モデルを構築し、それを広く知らしめることにより、粒子線がん治療施設、特に重粒子線(炭素線)がん治療施設の普及に貢献する。

2 計画の概要

線種・治療装置

【開院時】 重粒子線(炭素線)治療装置
【開院後】 次世代照射装置の導入を計画

設置場所

佐賀県鳥栖市 九州新幹線「新鳥栖駅」前

九州各界の支援

医療界、経済界をはじめとする九州各界各層の支援

事業スキーム

【医療運営】 医療運営法人
【施設所有等】 特別目的会社(SPC)

事業費見込

初期投資額150億円程度

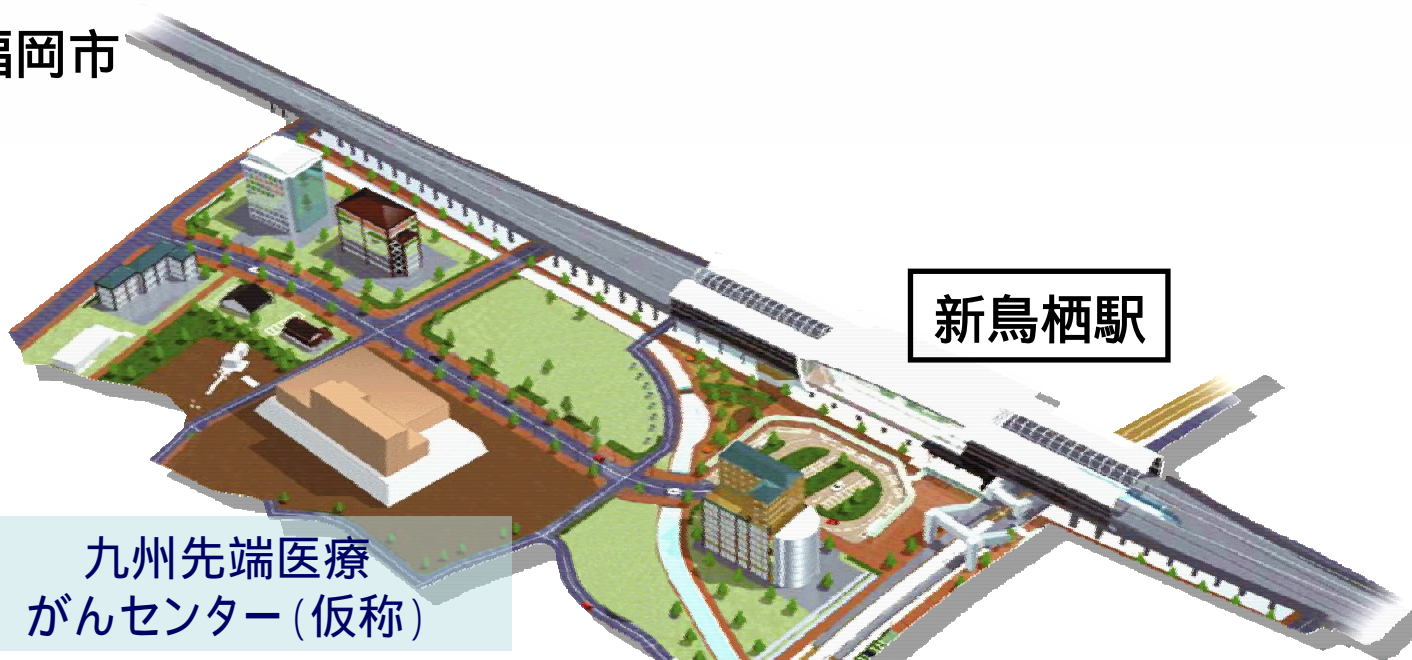
スケジュール

2013年(平成25年)春オープン予定

3 設置場所

九州新幹線「新鳥栖駅」前

至福岡市



九州先端医療
がんセンター (仮称)

新鳥栖駅

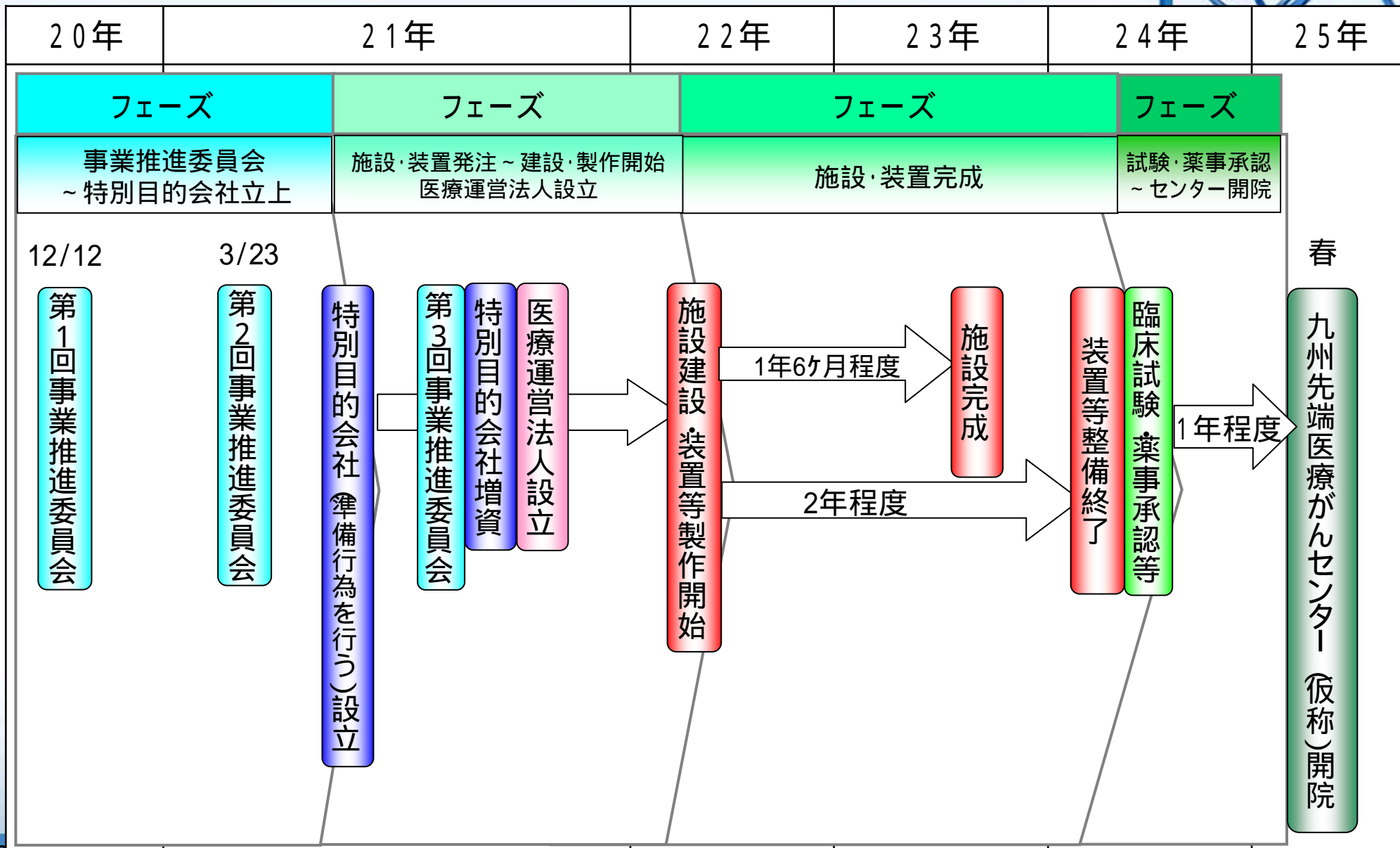
至熊本市、鹿児島市

至佐賀市、長崎市

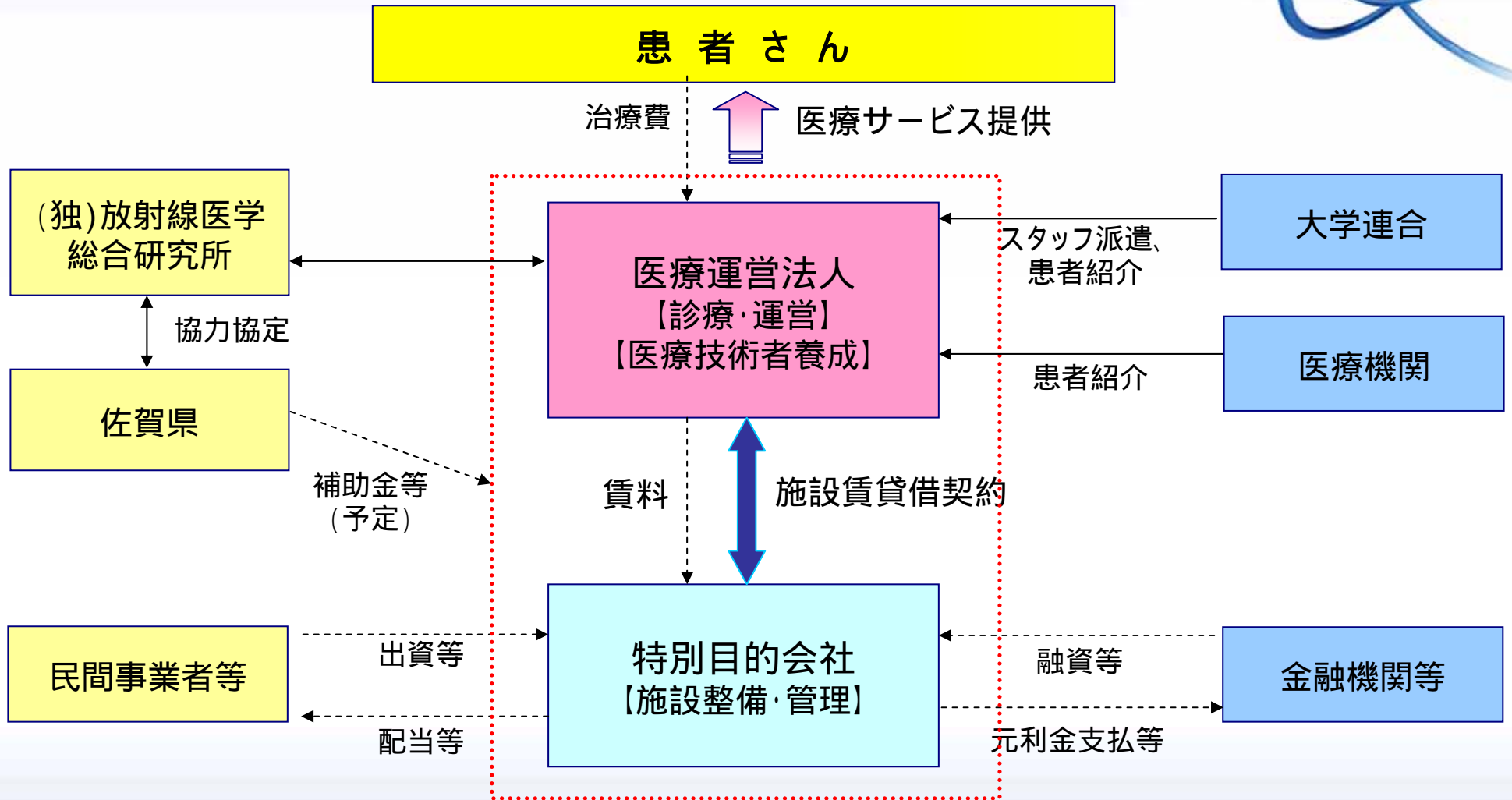
図は予想図です。

九州先端医療がんセンター (仮称)

4 事業スケジュール



5 事業スキーム



上記は現段階での想定であり、今後変更の可能性もある。また、佐賀県の補助金については議会承認が必要となる。

6 治療、施設・設備整備計画

診断・検査範囲

- ・基本的に紹介元で検査を行い、必要最小限の診断・検査を本施設で行う。

治療範囲

- ・原則として炭素線治療のみを行う。

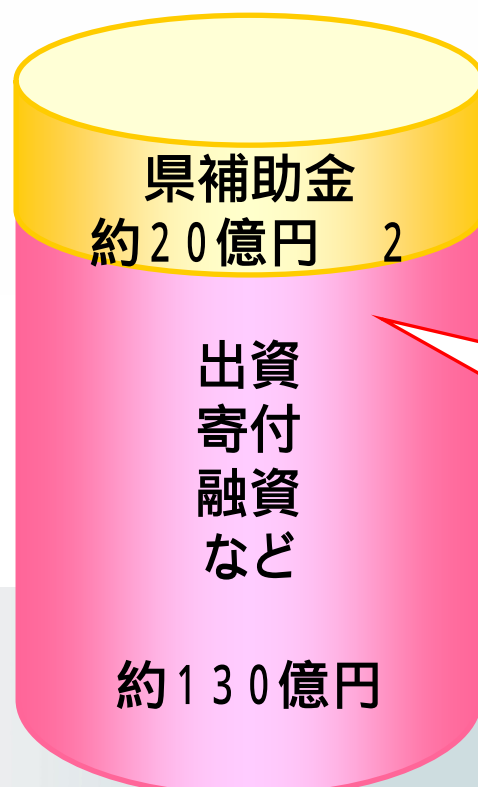
治療装置

- ・普及型重粒子線(炭素線)治療装置を導入する。
- ・次世代型照射装置についても導入を計画。

7 医療スタッフ配置計画（開院時）

| 職 種 | 開院時(H25) |
|---------------|----------|
| 医 師 | 5人 |
| 医 学 物 理 士 | 3人 |
| 診 療 放 射 線 技 師 | 6人 |
| 看 護 師 | 3人 |

8 資金調達計画



施設整備・機器導入時期にあわせ増資などを計画

80～100億を出資・寄付。融資の額を極力減らす方向で努力。

- 1 費用については、群馬大学実績、メーカー参考見積書等による。
- 2 佐賀県補助金については、県議会による議決が必要となる。

9 集患計画 全体方針

医療機関との連携

- ・九州・山口各大学からの患者紹介ネットワーク
- ・その他の医療機関からの患者紹介ネットワーク
- ・重粒子線(炭素線)治療相談外来窓口の設置
- ・先行の粒子線施設との連携
- ・紹介元医療機関へのフォロー体制の構築

医療機関以外との連携

- ・旅行会社、鉄道会社、航空会社等との連携
- ・保険会社との連携

広報活動

- ・インターネットの活用
- ・広報推進員による情報発信

集患は、医療運営法人、県、特別目的会社が役割分担のもとに連携して行う。



10 事業の推進

放射線医学総合研究所、大学(病院)等の協力が得られる

- ・重粒子線(炭素線)治療に関して豊富な知見を有する放射線医学総合研究所の協力が得られる(協力協定締結済)。
- ・医師の派遣に関しては大学の協力が得られる。
- ・集患に関しては放射線医学総合研究所、大学(病院)等の協力が得られる。

社会的意義の大きな事業である

- ・がん治療の推進は、わが国及び国民の間において強く願われている。QOL(生活の質)を重視したがん治療法を広める意味で本施設の社会的意義は極めて高い。
- ・九州新幹線新鳥栖駅前に立地することで、九州全域さらには全国、海外から集患が見込め、地域活性化の面でも期待の高い施設である。



本事業の推進へ！